

2023年1月31日

小児循環器内科に通院中あるいは通院されていた患者さまへ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、これまでの治療のカルテ情報から得られた研究データをまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分（やご家族）の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】1978年4月～2028年3月の間に、肺動脈性肺高血圧症で小児循環器内科に入院し、カテーテル検査時に大動脈造影あるいは冠動脈造影を受けた方

【研究課題名】肺動脈性肺高血圧患者の冠動脈径に関する解析

【研究責任者】国立循環器病研究センター 小児循環器内科 医師 岩朝 徹

【研究の目的】肺動脈性肺高血圧症で冠動脈径が、右心室の機能や心不全の状態、生命予後にどのように影響しているかを調べるため

【利用する診療情報】

年齢、性別、診断日、症状、心電図、心臓カテーテル検査、心エコー、心臓カテーテル検査での冠動脈造影、血液検査（BNP値）、トレッドミル運動耐容能検査、6分間歩行距離、心臓MRI検査値、レントゲン、心筋血流シンチグラム（アンモニアPETを含む）、治療状況（薬の種類・量・在宅酸素療法の有無）

【研究期間】倫理委員会承認日より2030年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 小児循環器内科 担当医師 岩朝 徹  
電話 06-6170-1070(代表)